

なぜ 今 「アンチエイジングドック」なのでしょう？



「抗加齢＝アンチエイジング」という言葉を耳にすることがおおくなってきました。「アンチエイジング」と「予防医学」はどこが異なるのでしょうか？

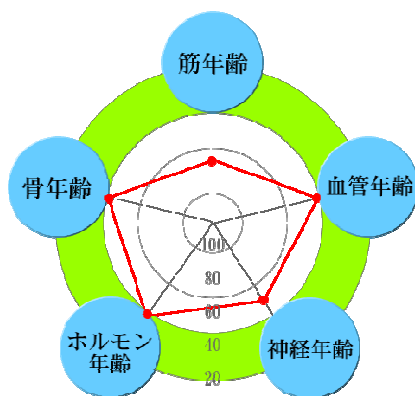
現在 日本人の平均寿命は男性 79.44 歳、女性 85.93 歳、死亡原因ベスト3 はがん、心疾患、脳血管疾患です。

現在の健康の指標は過去のたくさんのデータを標準化し、どのような食生活、運動をすれば予防できるかということを助言・指導するのが「予防医学」です。しかし、人の最長寿命が 120 年とい

われています。平均年齢からは 20 年以上の差があります。これは老化には病気だけではなくいろいろなメカニズムが存在することを意味しています。このメカニズムを明らかにして、120 歳という本当の健康長寿を実現しようとするのが「抗加齢医学」です。「健康長寿」の実現のためには「なにを食べ、どんな運動をして、どのような生活をしたらよいのか」という情報をしり、実行することも大切ですが、その効果は個人差が存在することを考えると、まず、自分のからだを健康にしているかどうかを実際にしらべることがより大切になります。

そのためには、まず「アンチエイジングドック」を受診することをおすすめします。(渡部)

体の老化度を測定し弱点の改善をしましょう！！



健康で元気に暮らしている人々を調べると筋肉、骨、血管、神経などの身体の各部分がバランスよく老化しており、身体の弱点が少ないことが分かってきました。その結果から、アンチエイジング医学では身体の各部分が全体的にバランスよく老化して行くことを理想としています。たとえば骨年齢が老化していると転んだだけで骨折したり、寝たきりになったりします。

また、血管が硬くなっていると、血栓が詰まりやすくなり脳梗塞や心筋梗塞などの生活習慣病になる可能性が高くなります。

このように身体の一部だけの老化が進んでいる場合は、その部分が弱点となり要介護状態になることが多いようです。アンチエイジングドックでは、血管、骨量、筋肉量、ホルモン量などを検査して、その人の弱点を見つけ、その弱点を改善して行くことを目的にしています。その結果、老化が原因で起きる病気や体調不良を予防し、最期まで介護の要らない楽しい人生を送ることを究極の目標としています。(玉井)